

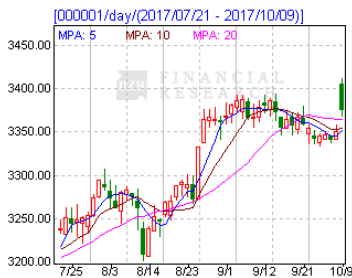


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	22,761.07	-12.60	-0.06	0.90	15.17	19,762.60
NASDAQ	6,579.73	-10.45	-0.16	0.97	22.23	5,383.12
日経225	20,690.71	62.15	0.30	1.64	8.25	19,114.37
上海総合	3,374.38	25.44	0.76	0.98	8.72	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,882.21	45.71	1.19	1.69	17.28	3,310.08
ハンセン	28,326.59	-131.45	-0.46	3.30	28.75	22,000.56
H株	11,385.38	-73.71	-0.64	4.70	21.19	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.3%高と大幅反発、本土市場は1週間休場

香港市場は国慶節と中秋節の休場を挟んで3営業日の取引。ハンセン指数は週間で3.3%高と大幅に反発した。NY市場をはじめとする海外市場が好調なことに加え、連休前に中国人民銀行が実質的な金融緩和を発表したことを好感。本土系金融銘柄を中心に幅広い銘柄が買い進まれ、6日まで4営業日続伸と好調な値動きが続いた。ハンセン指数は3日に節目の28000ポイント台を回復すると、週末6日には一時15年4月につけた直近高値を更新した。一方、本土市場は国慶節の連休のため1週間休場だった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、高値警戒感が強まる公算

香港市場は上値の重い展開か。NY市場で主要指数が過去最高値圏で推移していることは追い風になりそうだが、ハンセン指数が一時15年4月の高値を突破したことで高値警戒感が強まる公算。加えてトランプ米大統領が北朝鮮への武力行使を示唆するなど朝鮮半島を巡る地政学リスクも引き続き上値を抑える要因となりそうだ。一方、1週間の休場から明けた本土市場は連休前に発表された実質的な金融緩和を受けて高値圏での推移が見込まれる。18日から開かれる党大会を前にした政策期待も相場を支えそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車 (00175)	26.85	22.88
2 中国旺旺 (00151)	5.94	11.44
3 中国工商银行 (01398)	6.32	10.10
4 恒安国際集団 (01044)	78.40	8.29
5 中国蒙牛乳業 (02319)	22.35	6.94
6 中国平安保険 (02318)	63.25	6.48
7 中国建設銀行 (00939)	6.84	5.88
8 交通銀行 (03328)	5.99	5.64
9 中国神華能源 (01088)	19.46	5.53
10 恒隆地産 (00101)	19.00	5.44

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サズ・ファイ (01928)	38.55	-4.46
2 ファイナ・モバイル (00941)	78.35	-1.38
3 銀河娛樂 (00027)	53.60	-1.29
4 香港鐵路 (00066)	45.15	-1.10
5 中電控股 (00002)	79.55	-0.44
6 瑞声科技 (02018)	131.00	-0.15
7		
8		
9		
10		

▼今週の主なイベント

- 10月11日(水)
 - 【香港】施政方針演説
 - 【中国】第18期中央委員会第7回全体会議
- 10月13日(金)
 - 【中国】貿易統計(9月)

▼今週の期待材料

- ◆国慶節明けの中国本土市場が取引再開、連休前の預金準備率引き下げ発表を受けて好スタート
- ◆国慶節連休期間中の小売売上高は1兆5000億元、1日当たり平均小売売上高は10.3%増と好調
- ◆11日に中国共産党第18期中央委員会第7回全体会議を開催、党大会を前に政策期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数が一時15年4月の高値を突破して9年10カ月ぶり高値、高値警戒感が強まる公算
- ◆10日に朝鮮労働党創建記念日、米大統領の挑発で北朝鮮が再び弾道ミサイルの発射に踏み切る可能性も
- ◆13日に中国の貿易統計発表、予想を下回る低調な結果なら景気の先行き不透明感が強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 吉利汽車 (00175) : 9月の新車販売台数が42%増と好調、月次で過去最高を更新
- ☆ テンセント (00700) : ネット小説サイトの分離上場、香港証取が近く承認の見通し
- ☆ 洛陽ガラス (01108) : 国有資産監督管理委員会が資産再編計画を承認
- ☆ BYD (01211) : 米カリフォルニアの電動バス工場の拡張が完了、年産能力10倍に
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 9月の新車販売台数が18%増と好調、商用車は67%増
- ◇ 中国電力国際 (02380) : 親会社から電力7社買収で合意、株主割当増資も計画
- ★ スカイワース (00751) : 9月のテレビ販売台数が2%減、中国国内が30%減と不振
- ★ 中国金茂 (00817) : 9月の不動産販売額が2%増と減速、販売面積は13%減
- ★ 広州富力地産 (02777) : 9月の不動産販売額が13%減少、販売面積は1%の小幅減
- ★ 雅居樂集団 (03383) : 9月の不動産販売額が5%増と減速、販売面積は7%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。